

ひろしま型カリキュラム

小中9年間を見通した教育を進めます

変化の激しいこれからの時代に、子どもたち一人一人が将来それぞれの分野で活躍できるよう、「読み」「書き」「計算」はもちろんのこと、思考・判断・表現するために必要な「言語と数理の運用能力」を培うため、平成22年度から、全小・中学校に広島市独自のカリキュラムを導入します。

(1) 小学校と中学校の連携・接続を図ります。

前 期				後 期				
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9年間を見通した市独自の学習指導計画により実施								
学びの基盤づくりと基礎の徹底				思考力・判断力・表現力の向上と発展				

読み・書き・計算等の
基本的な知識・技能の定着

基礎的な知識・技能の活用

国語科、算数科の帯時間(1日15分
×3日=週あたり45分授業)の実施

新教科「言語・数理運用科」、小学校「英語科」の実施

- 「言語と数理の運用能力」を高めるために
各教科では、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を通して、各学年の到達目標を明確にし、目標にそった指導をしていきます。

(2) 小学校5年生から「言語・数理運用科」を実施します。

- 「言語・数理運用科」では
 - ・ 言語や数理を運用して、思考・判断・表現する力を育み、さらに日常生活の中で活用できる能力を育成します。
- 「言語・数理運用科」の授業は
 - ・ 身の回りの事象について、必要な情報を取り出し、課題を見つけ、これまでに他教科で身に付けた知識や技能を活用して、思考・判断し、自分の考えを表現する学習です。
 - ・ 新聞記事、チラシ、運賃表、映像、など日常生活の中にあるテキスト(資料)をもとに学習します。



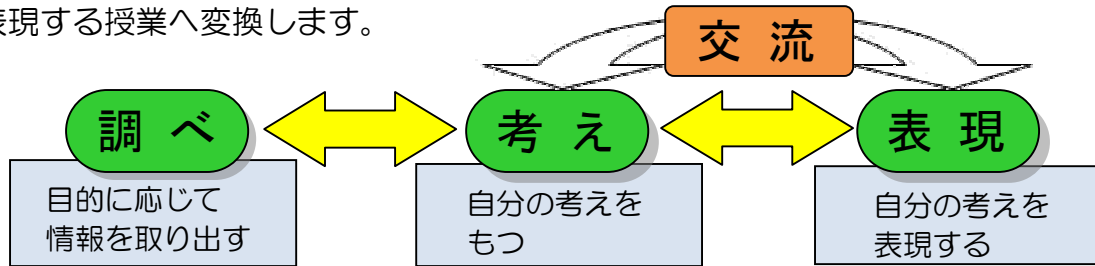
中学校「言語・数理運用科」の授業風景

(3) 小学校5年生から「英語科」を実施します。

- 小学校「英語科」では
 - ・ 「聞くこと」「話すこと」を中心に英語の音声に慣れ親しむ活動を通して、言語や文化に対する興味・関心を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。
- 中学校「外国語科」では
 - ・ 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく取り入れるとともに、繰り返し学習の充実を図り、英語によるコミュニケーション能力の基礎を育成します。

調べ、考え、表現する授業へ

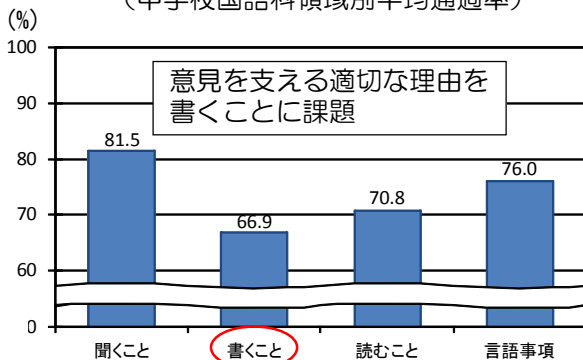
全ての教科を、子ども同士の話し合いによる課題解決を重視し、根拠に基づいて自分の意見や考えを表現する授業へ変換します。



国語科では

1 国語科の課題

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査より
(中学校国語科領域別平均通過率)



2 国語科の課題の解決のために

〔例：書くことの学習〕

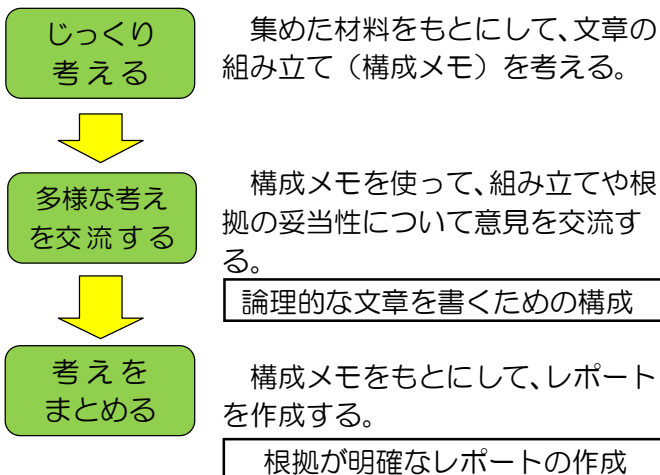
(1) 小・中9年間の系統性を重視します。

- 小1・2 語や文の続き方に注意して書く
- 小3・4 段落相互の関係などを工夫して書く
- 小5・6 筋道を立てて書く
- 中1 的確に書く
- 中2・3 論理的に書く

発達段階に応じた指導で国語の能力を育てます。

(2) 言語活動を充実させます。

教材例：調べたことを正確に伝えよう

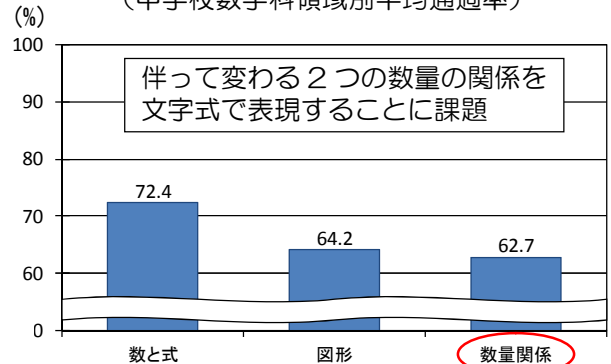


国語科で学習したことが、各教科など別の場面で十分活用できるよう、社会生活に必要なとされる言語の能力を育てます。

数学科では

1 数学科の課題

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査より
(中学校数学科領域別平均通過率)



2 数学科の課題の解決のために

〔例：関数の学習〕

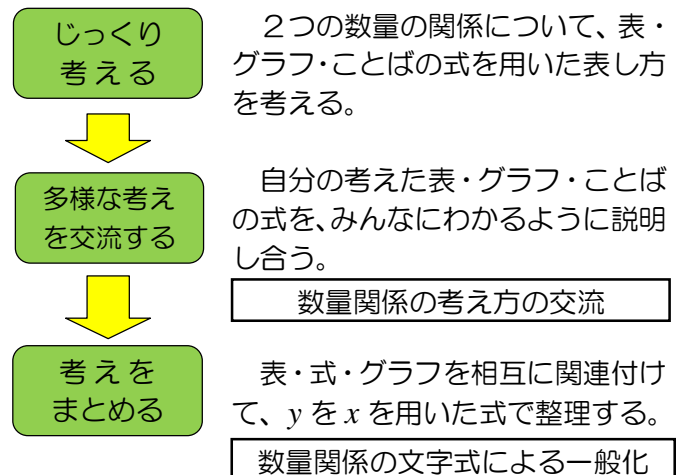
(1) 小・中9年間の系統性を重視します。

- 小1～4 基礎の徹底(式・表・グラフの理解)
- 小5 簡単な比例の関係
- 小6 比例と反比例(+の数)
- 中1 比例と反比例(+・-の数)
- 中2 一次関数
- 中3 関数 $y=ax^2$

学年進行に従い、領域ごとに系統付けた内容の指導の徹底を図ります。

(2) 考える場面と説明する場面を多く位置付けます。

教材例：比例・反比例の関係を見い出そう



数学科で学習して身に付けた知識・技能を、日常生活や他教科等の学習において、活用する力を育てます。

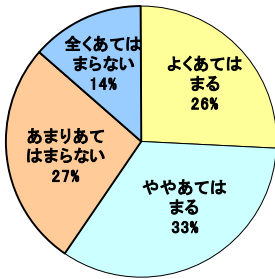
外国語科では

① 「外国語科」の課題

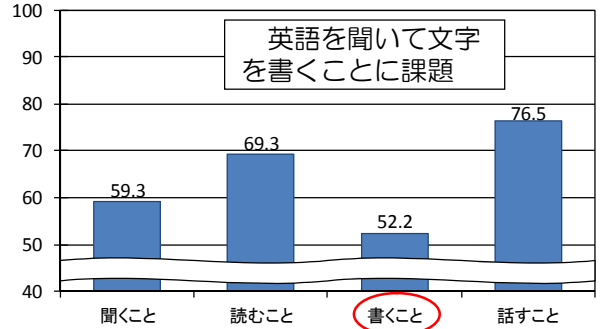
- 英語を学習し始めてわずか1年で、4割の生徒が、「英語が嫌い」「英語がわからない」と思っています。
- 英語を使って自分の言葉で表現する力が、十分には身に付いていません。

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査より
 <外国語科についての意識>

授業はよくわかります。



<中学校外国語科領域別平均通過率>



英語を聞いて文字を書くことに課題

② 外国語科の課題解決のために

(1) 小・中5年間を見通した目標・内容・指導計画を工夫します。[例：書くことの学習]

小5・6	500単語の音声に慣れ親しむ
中1	音声を文字につなげて書く
中2	文の構造に注意して書く
中3	まとまりのある文章を書く など

小学校では、英語を聞いたり、話したりする活動を行い、中学校では、音声を文章で表現する活動に発展させます。

(2) 授業時数を増やします

国に先がけて、平成22年度から週当たり4時間授業（年間140時間）にします。

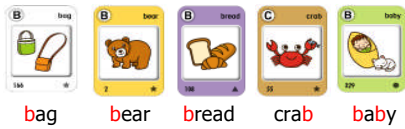
(3) 50分授業を「基礎を徹底する時間」と「英語の活用力を育成する時間」に分けて実施します。（各学年、年間105時間程度）

① 繰り返し学習をする時間（10分間）

- ・ 毎時間、英語を聞いて書く活動を実施し、「音を文字にする学習」「文法の基礎を身に付ける学習」を行います。

基礎の徹底

(例1) 「発音を聞いて文字を書く学習」



bag, bag, bag, (), ()
 bear, bear, bear, (), ()
 発音しながら、なぞりましょう。

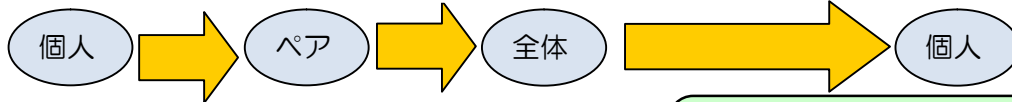
(例2) 「語と語のつながりを理解する学習」(名詞+前置詞句)
 英語を聞いて、発音しながら空欄を埋めましょう。

- the tree (by) (the) (house)
家のそばにある木
- the bridge (between) Honshu (and) Shikoku
本州と四国の間にかかる橋
- (the) (man) in front of that building
あの建物の前にいる男性

② コミュニケーション能力の基礎を身に付ける時間（40分間）

- ・ 学習した単語や文法を活用して、英語で理解したり表現したりする力を育成します。

[例：話した内容を整理して、まとまりのある文章を書こう！「話すこと」「書くこと」の学習]



英語の活用力の育成

調べる

自分の知識や辞書から情報を取り出す。

<活動例>
話したい内容を英単語で書く。

考える

単語を組み合わせて英文を作る。

<活動例>
書いた英単語を使って英語で話す。

表現する

工夫して相手に伝える。

<活動例>
英文をつなげて効果的に話す。

調べる

辞書や教科書から情報を取り出す。
 <活動例>
言えなかった単語や表現を調べる。

考える

単語を組み合わせて正しい英文を作る。
 <活動例>
言えなかった文を正しく書く。

表現する

適切に相手に伝える。
 <活動例>
まとまりのある文章を書く。

外国語学習に対する関心や意欲を高め、自らの体験や考えなどを外国語で発信する力を育てます。

言語・数理運用科の単元

「運動会」とかけて、
「宅配便の運転手」ととく
その心は、
「トラックで走ります。」



広島を紹介する
なぞかけをつ
くろう！

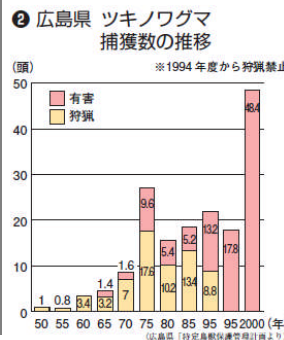
第1学年の単元名

- 1 広告カードをつくろう
- 2 生活時間を振り返ろう
- 3 カーブと市民の物語
- 4 著作権について考えよう
- 5 なぞかけで広島を紹介しよう
- 6 広島市の気温から考えよう
- 7 給食から自給率について考えよう
- 8 科学技術の進歩とわたしたちの生活
- 9 ようこそ広島の街へーお役立ちガイドを作ろうー



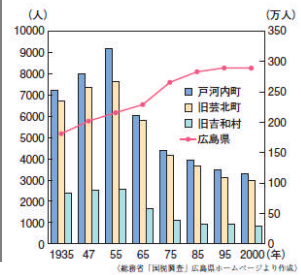
第2学年の単元名

- 1 言葉は乱れているのか？
- 2 わたしのおすすめ宅配便
- 3 バイオ燃料は地球を救う？
- 4 街に広かれ、ユニバーサルデザイン
- 5 日本オーレ！
- 6 クマが教えてくれること
- 7 コンビニの24時間営業を考える
- 8 1年間の交通費はいくら？
- 9 110万人のごみゼロ宣言ーごみゼロエミッションー



どうしてクマが民家の
近くに出没するようにな
ったのだろう？

⑤ 広島県の人口推移(一部)



セットメニューには、どんな秘密が
あるのでしょうか。数式や表を使って
わかりやすく説明しましょう

セットメニュー



第3学年の単元名

- 1 4コマまんがのおもしろさを伝えよう
- 2 テーマパークを楽しもう
- 3 広島の食材を守れ！
- 4 平和への誓い
- 5 お得なセットメニュー
- 6 広島市の自動車対策を提案しよう
- 7 中学生に携帯電話は必要か？
- 8 ETCを利用したドライブプランを提案しよう
- 9 未来のための提案 言葉は乱れているのか？



学習の進め方

- ・比較して考える。
- ・分類・整理して考える。
- ・関連付けて考える。
- ・多面的・総合的に考える。
- ・推論して考える。



- ・自分の考えのあいまいな所を
明確にする。
- ・友達の考えを参考にし、考え
を深める。



自分の考えや意見を、言
葉や式、図、グラフなどを
用いて、論理的に表現する。

